～～よみがえれ花輪川～～

八千代オイコス
かわら版
第 46 号

令和 4 年 6 月 15 日発行
八千代オイコス
http://www.yachiyo-oikos.jp/

新しい八千代オイコス

～引き続きよろしくお願いいたします～

昨年７月任意団体としての八千代オイコスを発足させ半年余が過ぎました。以前の NPO 法人八千代オイコスと何が違うのかと言われれば、県に提出する書類がなくなり会計書式も決まった書式から簡素化出来ると言ったぐらいで、活動内容は以前と変わりません。地域を生かした自然体験からの学びや諸団体との協働を進める中で、八千代だから出来る活動を進めていきたいと考えています。

この様なボランティア活動の中で親睦を深めさらに素晴らしい八千代を探求していきたいと考えています。メンバーも以前と何ら変わらず参加してくれています。これからも仲間と一緒に楽しく進めていきたいと思っております。

八千代オイコス　代表　金室彰

八千代オイコス２１年度総会報告

昨年、ＮＰＯ法人の活動を引き継ぐ目的で、任意団体八千代オイコスを設立、法人活動と並行して活動して参りました。この４月から、任意団体としての活動が本格的に始まります。

２２年度の活動計画を会員と共に確認する総会を、４月１７日に開催しました。活動の骨子は、今までと変わらず、「花輪川の整備手入れ」を、基本に据えて、里山保全の一環としての市民参加型、「米づくり体験」、子ども達に、水・川・そこに住んでいる生き物たちの事を知ってより良い環境を作るには、を、考えてもらう「川の学校」の開催、市内の各地域を訪ねながらウォーキングと清掃活動を取り入れた「エコウォーキング」、市内では貴重なホタルの生息地を市民の方に知っていただく、「ホタル鑑賞会」、年末の「収穫祭・餅つき大会」、と今までの活動を踏襲していく事になりますが、今年の新しい挑戦としては、市内の自然・植物などを講師の方を先頭に歩く「自然観察ツアー」の企画、稲刈り後の「藁を利用した遊びの体験」など、もっと、会員も、市民の方も気軽に楽しめる企画が話題に上りました。そして、今までなかなか実現しなかった、新しい仲間が、お二人加入いただき、一気に平均年齢の若返りが実現しました。嬉しい出来事です。私たちの切実な悩みは、「新しい会員の獲得」ですので、これからも新加入の方が増えてくるように活動を通じて市民の皆さんにＰＲしていきたいと考えております。

事務局長　小林　和幸

今後の活動予定

日にち	活動内容
７月　３日	米づくり体験　第二回草取り
７月 31 日	川の学校
８月　７日	川の学校　予備日
８月　７日	ホタル鑑賞会
９月　４日	米づくり体験　稲刈り
９月 18 日	米づくり体験　脱穀
10 月 23 日	秋のエコウォーキング
11 月 25 日	パンジー植栽
12 月 18 日	収穫祭（餅つき会）

※毎月第２日曜日
午前：花輪川作業、午後：定例会
（８月のみ第３日曜日）

動く街

当市は東京から３０キロ圏にあり、大規模な住宅団地が造成され、人口増加が一時は全国一となりましたが、私が当市に転入してからは、一段落、という印象でした。ただここ２～３年、街を歩くと、更地が増え、林野には開発計画看板が建てられ、牧場が住宅やマンションに変貌してきました。再び、街が動き出した、と日々実感しています。ただ、過去の急激な人口増は各種インフラの同時期老朽化を招き、多くの課題を抱えていますから開発とそれに伴う住み易さや生活のし易さ等の環境整備は待ったなしです。そして、郊外の里山環境もこれ以上の浸食無く保たれる事など、今後、バランスの取れた発展を期待したい。

オイコススタッフ　小林

米づくり体験 ～田んぼ始めました～

５月５日、朝から気持ちよく晴れ、初夏のさわやかな陽気を全身で感じられる絶好の田植え日和。９時に現地に集合、検温・消毒（コロナ対策）を行い島田谷津の田んぼに向かい、申込者４８名が田植えを行いました。４月２３日の農業交流センター研修室での米づくりについての説明と、当日、農家の山崎さんから田んぼで苗の植え方の説明を受けて、準備は万端。

川側と道路側、田んぼの両側から「もち米」「うるち米」の二手に分かれ手植えを行いました。苗を等間隔に植えられるようにと、オイコススタッフがロープにつけた目印に沿って苗を植えていきます。最初は足首まで泥の中に入り、移動もままならない様子で大人も子どももおっかなびっくりでしたが、慣れてくると苗を植える手つきも様になってきます。中には田植えをしているうちに泥んこが楽しくなったのか、何度も泥の中にお尻をついて、しまいには首まで浸かって泥浴びをする子もいました。田んぼに遊びに来ていた鴨のつがいが、その一部始終を楽しそうに見ていました。途中休憩をはさみ、皆で頑張ったおかげで予定よりも大幅に早く約２時間半で田植えを終了。泥を洗い、木々の緑の香りを運んでくる心地よい風に吹かれながら田んぼの脇でお弁当をいただき解散となりました。家族が一緒に同じ体験をすることの大切さを感じました。米づくり体験の皆様、お疲れ様でした。

オイコススタッフ　金室

参加者の声

- 初めての田植で張り切って参加しました。実際にやってみると泥田に足を取られ、転びそうになったこともありましたが、次第に慣れてきて楽しく参加することができました。これからも、稲刈りや餅つきなどもあるというので楽しみにしています。
- これまで大山千枚田の棚田オーナーとして参加してきましたが、遠いので大変になってきました。近場でこのような体験ができて嬉しいです。

秋のエコウォーキング ～八千代の歴史を歩きながらごみ拾い～

オイコス恒例の秋のエコウォーキングを、一般応募者とオイコスメンバー合計 19 名で令和 3 年 10 月 24 日に実施しました。

私は 8 年前に関西から八千代市に引っ越ししてきました。子供たちにきれいで安全な川遊びを楽しんでもらいたいと思い、活動に参加しています。活動をとおして川整備だけでなく、ウオーキング、田んぼ作り等楽しんでいます。おかげで、八千代の自然や歴史を学んでいます。

今回は八千代緑が丘駅から八千代台駅まで約 7.5Km を、前半は歴史解説などを聞きながら、後半はゴミ拾いしながら約 3 時間半かけて散策しました。自転車で八千代緑が丘から八千代台まで行くことは多いですが、歩きはいろいろな発見があります。オイコスのウォーキングは解説付きなので、楽しみは倍増です。今回は、“高津第 1 号取水井”、“高津小鳥の森”、“高津比咩(ひめ)神社”、“高津観音寺”、“八千代台近隣公園”などを見学しました。

私はオイコスのメンバーの協力をえて、近所のゴミ拾いを月 4 回ほどしていますが、ゴミはなくなりませんね。ゴミは、たばこの吸い殻、お菓子の包み紙、レシート、ペットボトル等が多いですね。オイコスの活動は”八千代オイコス”の HP でも見ることできます。ぜひ私たちの HP を検索してみてください。

オイコススタッフ　藤田

高津観音寺の巨大な般若面
約 3.0m以上、幅は、約 2.5m

高津１号取水井
上水道は、市内の深井戸から汲み上げる地下水と北千葉広域水道企業団から受水する江戸川の水とのブレンド水道

花輪川作業

～遊歩道花壇・冬の寒さに耐えて～

これまで花苗をいただいていた環境緑化公社が文化・スポーツ振興財団と合併し，地域振興財団となったことをきっかけに、我々も”花輪川遊歩道花壇の会（八千代オイコス)”と名乗りパンジーの花苗を受領することとなりました。

今回のパンジーの植え付けは花壇の整地作業と植え付け作業に分けて行いました。

11 月 14 日定例の川作業では、まだ赤い花をつけた元気なサルビアを全員で抜き、橋上の残土を元肥として花壇に撒きました。その後 11/20～11/24 日迄、雑草除去、篠根抜きをし畝をつくりました。11 月 26 日昼より車 4 台でパンジー苗をいただきに地域振興財団へ行き、花壇へ運びました。４名の仲間と合流し、700 苗のパンジーを、内側は青色、外側は黄色と植え付けました。作業は事前準備がよく順調に進み、植え付け後の青/黄のパンジーラインが綺麗で、達成感を味わいました。しかし今年に入り寒い日が例年より多く、霜柱で苗が持ち上げられたり、凍つた土のかどで茎が切られたり、強風で飛ばされたり、その都度植え直しましたが１/３以上のパンジーが枯れて無くなりました。パンジーは花が咲いた状態で越冬するのは大変なことだと痛感しました。来年は、事前にパンジー栽培の真冬対策を考えたいと思います。

オイコススタッフ　新谷

餅つき会

令和 3 年 12 月 19 日、新型コロナ対応で 2 年ぶりの餅つき会を行った。

当日は快晴無風の絶好の日和。公募体験者 46 名、オイコススタッフ家族を含め 20 名が集合した。朝 9 時、金室代表が挨拶。内容説明後、各自勇んで持ち場に向かった。

私の担当はもち米の蒸しと湯沸しだ。プロパンボンベ 3 本とガスバーナー6 台。周囲は風対策も施した。二段重ねのセイロは約 45 分で一つが蒸し上がる。そして急いで餅つき機に運ぶ。7 分間こねて今度は臼に運ぶ。臼と杵を使い人力でぺったんぺったんついて餅が出来上る。今年は 23 臼を数えた。

子供とお母さんが一生懸命力を合わせて、のし餅づくりにチャレンジする。最後は火傷防止対策を工夫した箱を通してのし袋に入れ平らな餅に整えた。一家族一升分を持ち帰ってもらった。

当日の楽しみは皆で食べることにもある。試食はあんこ餅ときなこ餅だ。皆ニコニコと嬉しそう。お代りする子供も多い。時間をおいてもう一つはおなじみオイコス名物トン汁。野菜と肉たっぷりの絶妙な味に仕上がった。準備に頑張ってくれた女性陣に感謝だ。

楽しかった時間もアッという間に過ぎて午後 3 時には後片付けも済ませて散会した。

事故もなく成功裏に終えることが出来たのも、きめこまかい準備と参加者の協力があってのことだと感謝している。

オイコススタッフ　島

編集後記

任意団体の八千代オイコスが始まった。とはいえ NPO 法人オイコスと変らず、NPO である。メンバーもいつものメンバーである。

されど、身軽になった NPO である。煩わしい書類提出等の事務作業から解放され、全員パワー全開。楽しく、仲良く、ミッション、パッション、ハクション！（NONN）

発行責任者：金室　彰
事務局＆問合せ：小林
☎090-1842-8738
mail：info@yachiyo-oikos.jp